

大吉 第九十九番



紅日当門照
こうじつもんにあたつてゝらす

暗月再重圓
あんげつふたゝびちようえんたり

遇珍須得宝
ちにおうてすべからくたからをう

頗有稱心田
すこぶることろにかなうでんあり

よい日が門にあたるは
天道よりめぐみをうく
ることなり

くらき月も再びてりわ
たりてじゆうゑんと
まどかになるなり

これは何事にもあれ珍
しきことにあいて財宝
を得べしとなり

これはだいじんひき
たてられよほど名を
あぐべしという事なり

▼このみくじにあたる人は、うんせい朝日のゝぼるが
如く立身し、これまで苦勞ありたる人も、闇夜をはな
れて月夜に入るがごとし、おもいのまゝに、これより
なることを得べし▼よろこび事十ぶんなり▼病人本ふ
くす▼失物出づべしたび立吉▼えんだん吉、産はあん
ざん▼ふしん、やうつり吉▼取は土、金、紙、木にえ
んあることなればよし▼待人来たる▼子宝多し▼あら
そい事勝ちなり▼うらゝかに朝日わがやを照すなりの
きばのうめは色をましつゝ